

マンションのこと みんなでなんでも話し合ってみよう 連続座談会ニュース 第112、113合併号

板橋マンション管理組合ネットワーク

◎第112回のテーマは「耐震診断・耐震補強・新耐震でも必要?」、講師は耐震アドバイザーの西山健次氏です。

▲耐震とは?…建物の倒壊を防ぐこと。約70%のマンションが耐震診断をしていないという。なぜか?

耐震診断は可能でも、その先の「耐震工事」が費用等の理由で行えない可能性が高い。

不合格の診断が出て、さらに耐震工事をしない場合、不動産取引時に重要事項説明として「耐震診断不合格」である旨を記載する義務が生じる。

耐震診断を行ったことをなかったことにはできないのだ。

▲耐震基準には、旧耐震と新耐震がある。新耐震基準なら安心か?

下階壁抜け(ピロティ)構造(2階以上の建物で、1階部分が柱になっている)は注意が必要。耐震診断をしたほうがいいのでは、とのことです。

◎第113回テーマは「いたかんネット20周年記念・新春のつどい」

いよいよ1月27日(金)の開催が迫ってきました。会員のみなさんのお手伝いもあり、準備も大詰めを迎えて、多くの来場者の来館を期待しているところです。

楽しい会になるよう開催日まで日々努めます。

また主催者の我々も、感慨に浸りつつ、多いに楽しみましょう。

いたかんネット



最近読んだ面白い BOOK 紹介③

「12人の手紙」 著者:井上ひさし

この本を読んだとき、手紙や公文書だけで成り立っている小説もあるのか、と驚いたものだ。

一つ一つの話は独立して

いるが、同じ手法や傾向の物語は一つとしてない。

登場人物たちの心をストレートに語る手紙だから

こその怖ろしさ、それが

ミステリー向きということが

段々とわかってくる

構成になっている連作短

編小説である。

昭和53年の作品なので、昭和の男女観、価値観が満載といったところ。

最後の章で、それまでの登場人物の関係が変化して再登場するのも面白い。

特に、出生届、転出届、死亡届等、役所への届け出などだけで登場人物の人生を描いている章や、手紙文例集の引用で構成されている章などは「お見事!」というほかない。

書簡だけでこんなに人生が垣間見られる、作者の技巧が光る作品である。

書簡だけでこんなに人生が垣間見られる、作者の技巧が光る作品である。

書簡だけでこんなに人生が垣間見られる、作者の技巧が光る作品である。

